



仏教×SDGs 2021

Buddhism × Sustainable Development Goals



報告冊子



The group of RYUKOKU SOGO GAKUEN

龍谷総合学園

「仏教×SDGs 2021」 ～ 協議会の歩み～

タイムスケジュール	内容		
	協議会① 「ジェンダー」「多様性」	協議会② 「食のこと」「エシカル消費」	協議会③ 「SNS ～対話・コミュニケーションの可能性～」
2021年7月1日	・「仏教×SDGs 2021」実施要項一式を各校へ発送 ⇒ 事前学習用教材DVD等を参考に、各校にてアクションプランを考案		
2021年8月21日	①	「仏教×SDGs 2021」実施	
		参加8校	参加7校
2021年9月30日		・テーマ別オンライン延長協議(1回目)実施案内を各校へ発送	
2021年10月19日	②	テーマ別オンライン 延長協議(1回目)	
		参加5校	
2021年10月21日		テーマ別オンライン 延長協議(1回目)	
		参加6校	
2021年10月22日			テーマ別オンライン 延長協議(1回目)
			参加7校
・各延長協議(1回目)において、2回目の延長協議の実施を決定			
2021年11月5日	③	テーマ別オンライン 延長協議(2回目)	
		参加5校	
2021年11月11日		テーマ別オンライン 延長協議(2回目)	
		参加3校	
2021年11月19日			テーマ別オンライン 延長協議(2回目)
			参加4校
2021年12月1日		・最終全体会の実施案内(メール送信)	
2021年12月9日	④	「仏教×SDGs 2021」最終全体会	
		参加5校	参加5校
			参加6校

「仏教×SDGs 2021」実施報告

残暑厳しい8月21日、全国各地より「仏教×SDGs 2021」に多くの龍谷総合学園の高校生とサポート教員の皆さまにオンラインにてお集まりいただきました。

申すまでもなく、SDGsとは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称であり、持続可能でよりよい世界を目指すための目標として、2015年9月の国連サミットで採択されました。以来、日本でも多くの企業や自治体などが積極的に取り組み、その活動はメディアでも取りあげられています。

龍谷総合学園に加盟する学校もSDGsへの取り組みを独自に進める中、龍谷総合学園全体としては、2019年度から「仏教×SDGs」を立ちあげました。本プロジェクトは、龍谷総合学園の高校生たちが集い、世界的課題と自分たちの暮らしとの繋がりを感じながら、SDGsの基本理念である「誰一人取り残さない」社会の実現に向け、自分たちに何ができるのかを考え、目標達成のため行動する主体的な学びに資することを目的として発足しました。しかしながら、それは単なる社会貢献活動への参画というだけではありません。なぜなら、各校の建学の精神である「仏教の教え」はSDGsの基本理念と強い親和性があるからです。

仏教、取り分け親鸞聖人の示された浄土真宗には「摂取不捨」という教えがあります。これは、一切衆生（すべての生きとし生けるもの）を摂め取って捨てないという阿弥陀さまの本願のお働きを表す言葉ですが、この「誰一人取り残さずに救う」教えとSDGsの「誰一人取り残さない」という基本理念には通じるものがあるように感じます。さらに仏教の「縁起」の教えは、単独で存在するものではなく、すべては関係性を持っていることを私たちに教えてくれています。世界のどこかで起きている課題は私たちの日々の暮らしに密接に関わっている問題であり、だからこそ龍谷総合学園に関係する一人ひとりも、課題の克服に向けて取り組む必要があると考えます。

「仏教×SDGs 2021」では「ジェンダー／多様性」「食すること／エシカル消費」「SNS～対話・コミュニケーションの可能性～」という3つのテーマについて、各テーマが抱える課題の克服に向けたアクションプランを参加校がそれぞれ持ち寄り、協議を重ね、より具体的なプランへと見事に昇華させてくれました。しかし、オンラインによる1日のみの研修では協議時間が不足していたのではないかと反省もあり、より具体的で実行可能なアクションプランの策定に向けて、テーマ別のオンライン延長協議会を2度開催し、12月9日には同じくオンラインでの最終全体会を実施いたしました。

部活動や学校行事などでご多用な中、アクションプランの考案から長きにわたってご参画いただきました高校生の皆さん、生徒たちをご指導いただいたサポート教員の皆さまに対し、この場をお借りして厚く御礼申しあげます。このたび、皆さんの取り組みと結果を一人でも多くの仲間と共有し、各校において活動する際のヒントとなることを願い、報告書としてまとめさせていただきます。

研修は12月9日に一区切りを迎えましたが、そこで終わりではありません。重要なのは、実際にアクションを起こすことです。各校独自ですでに取り組まれている活動や本プロジェクトを機に新たに始めた取り組みの中に、今回の研修で発見した新たな切り口や、他校の発表から受けた刺激、そして最終アクションプランのエッセンスを取り入れ、各校で積極的に実行に移していただければ幸いです。

皆さんがこれからも仏教的視点を大切にしながら、周りの仲間と協力して身近な課題の解決に向けて共に活動を続けていくことを期待しています。

2022(令和4)年1月

「仏教×SDGs 2021」作業部会

部会長 紅 煤 聖

(東九州龍谷高等学校)

龍谷総合学園「仏教×SDGs 2021」(オンライン)

実施要項

1. 目 的

このプロジェクトは、建学の精神を同じくする龍谷総合学園加盟の高校生が、仏教およびSDGsについての学びを深め、国連が定める新たな開発課題と自分たちの暮らしとの繋がりを感じながら、「誰一人取り残さない社会」の実現に向けた活動実践を目的としています。龍谷総合学園としてのサステナビリティ活動の目標化と共有を図ることで、「利他の精神」の醸成と「まごころある国際人」の育成を目指します。

2. 開催期日 2021(令和3)年8月21日(土)【オンライン開催 (Zoom)】

3. 参加対象 龍谷総合学園加盟高等学校
《生徒》2名(※学年は問いません)
《サポート教員》1名(※総合探究科目もしくは宗教科担当教員)

4. 協議テーマ ①「ジェンダー」「多様性」
(関連SDGs目標)※参考
5: ジェンダー平等を実現しよう
10: 人や国の不平等をなくそう

【担当校】旭川龍谷高等学校・武蔵野大学高等学校
高岡龍谷高等学校・龍谷大学付属平安高等学校
相愛高等学校・神戸龍谷高等学校・崇徳高等学校
筑紫女学園高等学校

②「食えること」「エシカル消費」
(関連SDGs目標)※参考
1: 貧困をなくそう
2: 飢餓をゼロに
12: つくる責任 つかう責任

【担当校】小樽双葉高等学校・武蔵野大学附属千代田高等学院
金沢龍谷高等学校・岐阜聖徳学園高等学校
神戸国際高等学校・進徳女子高等学校
東九州龍谷高等学校・敬徳高等学校
Pacific Buddhist Academy

③「SNS ～対話・コミュニケーションの可能性～」

(関連 SDGs 目標) ※参考

- 9：産業と技術革新の基盤をつくろう
- 12：つくる責任 つかう責任
- 16：平和と公正をすべての人に
- 17：パートナーシップで目標を達成しよう

【担当校】札幌龍谷学園高等学校・国府台女子学院高等部

龍谷富山高等学校・北陸高等学校・京都女子高等学校

兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校・岡山龍谷高等学校

敬愛高等学校・龍谷高等学校

5. 事前学習

◆教材 DVD について (※各校 2 枚配布、約 70 分間)

収録内容 1) 仏教×SDGs について (企画の概要とコンセプト)

講師：野呂 靖 (龍谷大学 文学部准教授)

2) 協議テーマ①について

講師：岩田 真美 (龍谷大学 ジェンダーと宗教研究センター長)

3) 協議テーマ②について

講師：落合 雪野 (龍谷大学 農学部教授)

4) 協議テーマ③について

講師：名越 康文 (相愛大学 客員教授／精神科医)

参加生徒 (2 名 1 チーム) は、事前送付の教材 DVD や動画の中で紹介される参考図書をヒントに、割り当てられた協議テーマが抱える課題の解決・克服に向け、自分たちが行う具体的なアクションプランを考案してください。その際、できるだけ身近な問題にフォーカスし、取り組む課題と解決策に具体性を持たせるように留意してください。プランについては、研修会当日にチームごとにプレゼンテーションしていただきますので、プレゼン用の PPT (パワーポイント) を事前に作成してください。発表は 3 分以内とし、使用する PPT は 3 ページ以内でご準備をお願いします。

6. 当日の流れ

午前中は、各チーム考案のアクションプランを順次プレゼンしていただき、午後からはテーマごとに分かれて協議会を行います。プランのブラッシュアップとともに、最終的には 1 つのプランに統合 (もしくは選択) のうえ、全体会にてテーマごとに発表を行います。当日は教育・宗教関係のマスコミを招待し、全体会での発表内容を、龍谷総合学園(RSG)「仏教×SDGs 2021」宣言として、広く社会に発信します。さらには、アクションプランに基づき、各校にて実際に活動を実践していただくことを、本研修会の目標として設定しています。

7. サポート教員の皆さまへ

Zoom によるオンライン接続に必要なご準備（会場手配・PC・カメラ・マイク）をお願いいたします（高校生 2 名で 1 チーム＝1 回線の接続）。当日は基本的に生徒の近くで一緒にいただき、適宜アドバイスなど生徒のフォロー、並びに接続・機材トラブル等が発生した場合のご対応をお願いいたします。参加にあたっては、新型コロナウイルス感染症への対応として、消毒や換気などの衛生管理にご配慮のほどよろしくお願い申し上げます。また、昼食は各自でご用意いただき、昼休憩時間にお取りいただきますようお願いいたします。

8. 参加申込

申込用紙に必要事項をご記入のうえ、7 月 30 日(金)必着にて、事務局宛ご提出ください。なお、ご記入いただきました内容の一部は、レジュメや名簿等に記載いたしますこと、あらかじめご了承ください。

9. 日 程

時間	内容
9:00	オンライン接続開始
9:30	開会挨拶・オリエンテーション
9:45	アクションプラン発表
11:30	テーマ別協議会①
12:00	昼食・休憩
12:45	テーマ別協議会②
14:30	全体発表・RSG 宣言
15:15	まとめ・ふりかえり
15:45	閉会挨拶
16:00	終了・解散

以 上

龍谷総合学園事務局【担当：山下・若林】
〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル
浄土真宗本願寺派伝道本部 社会部＜宗教教育担当＞内
TEL：075-342-2797(直通)／FAX：075-351-1211

「仏教×SDGs 2021」 日程

2021(令和3)年8月21日(土)

時 間	内 容
9:00	オンライン接続開始
9:30	開会挨拶（入澤 崇 龍谷総合学園理事長） オリエンテーション
9:45	「仏教×SDGs 2019」の振り返り ・『ネパール学び支援プロジェクト～文具平等～』-実践報告- （林 幸世 先生 [神戸龍谷高校 JVC(ジュニアボランティアクラブ)顧問]） ・『龍谷富山高校から見た「文具平等」』-先輩からのメッセージ- （林 天紗 さん [龍谷大学4年生/龍谷富山高校卒業生]） ※「仏教×SDGs 2019」学生ファシリテーター 「仏教×SDGs 2021」学生サポーター
10:05	各校考案のアクションプランを発表
12:25	昼食・休憩
13:00	テーマ別協議会（Zoomのブレイクアウトルーム機能を使用）
15:10	再集合 各協議会班代表校より全体発表
15:30	まとめ（作業部会員：井上 陽 先生）
16:00	RSG宣言（参加生徒代表：亀井 柚花 さん [岡山龍谷高校]） 閉会挨拶（作業部会長：紅 椋 聖 先生）
16:15	終了・解散

◇「仏教×SDGs 2019」の振り返り

◆『ネパール学び支援プロジェクト～文具平等～』-実践報告-

神戸龍谷高校 林 幸世 先生 [JVC(ジュニアボランティアクラブ)顧問]

- ・2019年度に実施の「仏教×SDGs 2021」において神戸龍谷高校の参加高校生たちが提案した「文具平等」というアクションプラン※について、活動を行う中で見えてきた苦労も含めた実践報告。

※「文具平等」・・・JVC部員を中心に2012年から開始した事業。現在まで活動継続。

- ・基本サイクルは、

①集める ⇒ ②仕分ける ⇒ ③届ける

喜ばしいことに、大量の文房具が集まったが・・・



- 悩み その①「モノは集まるが、置き場がない」
その②「ネパールへの運び手がない」
その③「文具平等の活動が
本当の意味で支援に
なっているのか」

・支援慣れ
・ブラごみ
・持続不可能
・ネパールのため？

- ・ネパールのための活動だけでなく、日本のための（国際協力を誰でも気軽に行える）活動としても機能すると結論付ける。
この体験が、高校卒業後も国際支援を行うきっかけとなることを願い、様々な悩みがあっても活動を継続している。

それでもやるぞ！文具平等

ネパールのためというより

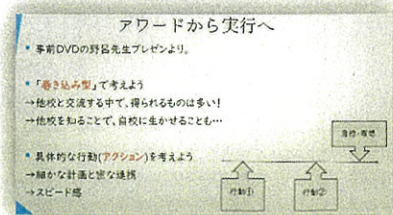
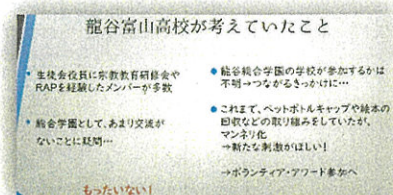
国際協力を
気軽に体験してもらうため
=啓発活動

◆『龍谷富山高校から見た「文具平等」』-先輩からのメッセージ-

龍谷大学4年生 林 天紗 さん [龍谷富山高校卒業生]

- ・2017年 龍谷富山高校在学中、「ボランティア・アワード」というイベントで神戸龍谷高校の「文具平等」を知り、2018年度から「文具平等」に連携協力。
- ・今、振り返って考えてみると、他校と交流するという「巻き込み型」で考え、神戸龍谷高校と密に連携を取りスピード感を意識して「綿密かつ具体的なアクション」を考えたことが、龍谷富山高校における「文具平等」の実行に繋がったと考える。

※「巻き込み型で考える」「具体的な行動(アクション)を考える」というキーワードは、事前学習用教材DVDにおいて野呂 靖 先生(龍谷大学)が「課題に取り組むための3ヶ条」として示す内容でもある。



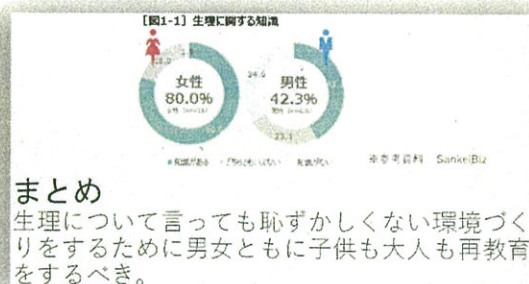
◇「仏教×SDGs 2021」アクションプラン

◆ 協議会テーマ①「ジェンダー」「多様性」

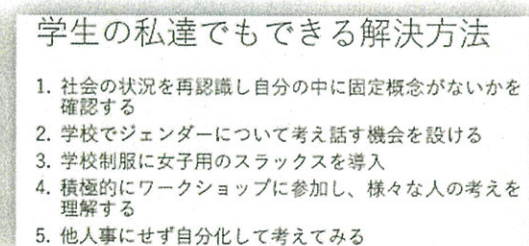
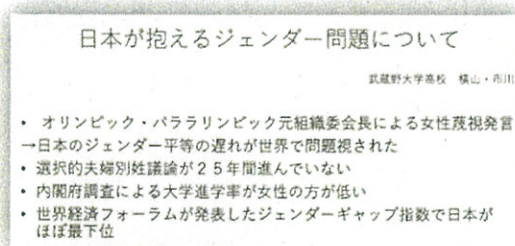
☆ 各校考案のアクションプラン

- ①旭川龍谷高校『生理を「恥じない」世の中にしたい』
- ②武蔵野大学高校『日本が抱えるジェンダー問題について』
- ③高岡龍谷高校『自分らしく生きられる社会にするために』
- ④龍谷大学付属平安高校『ジェンダーとトイレ』
- ⑤相愛高校『ジェンダーに関する身近な課題』
- ⑥神戸龍谷高校『～らしさ』
- ⑦崇徳高校『男女共に自由な制服へ』
- ⑧筑紫女学園高校『ジェンダー、多様性と仏教』

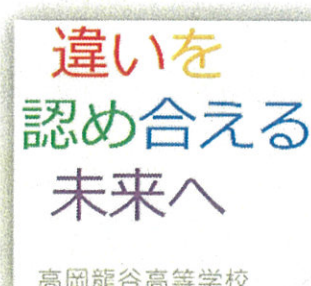
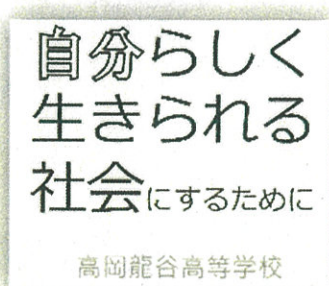
①



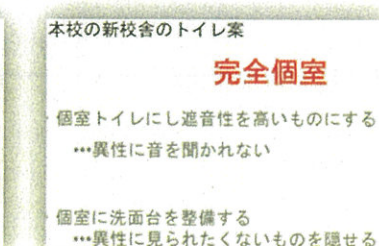
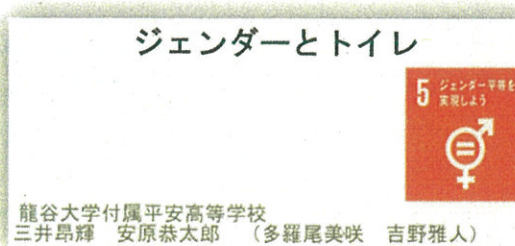
②



③

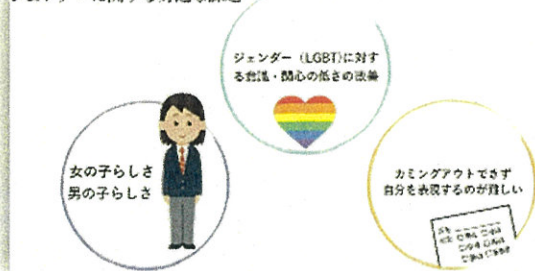


④



⑤

ジェンダーに関する身近な課題



私たちができること

自身を表現する日
私服デーの実施

自分自身の意識改革
「女の子だから○○」を題に標語作り
EX) 女の「傘」からって制服は着るとは思わへん!
女の「傘」からってスカートが着きたいわけじゃない!

⑥

仏教×SDGs 「ジェンダー」と「平等」

～らしさ

例) 男の子は傘をさす、女の子は傘をささない (偏見 差別)

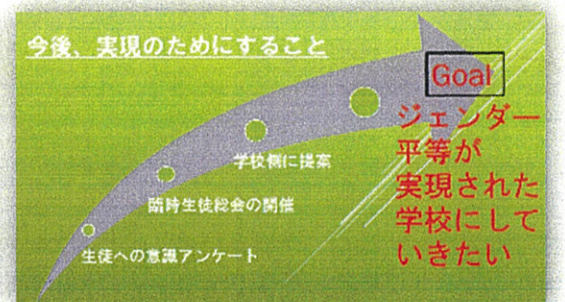
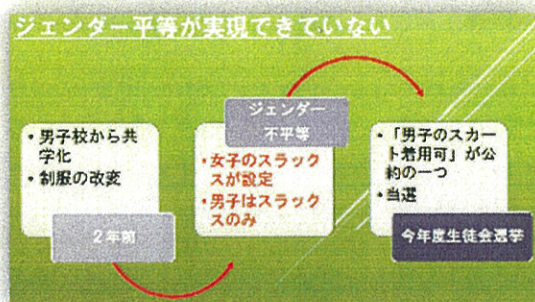
「～らしさ」の押し付けをしないための取り組み

ランドセル 制服 トイレ

だれでもトイレ
だれでも
ご利用いただけます。

制度があっても自分らしい選択ができないなら意味がない

⑦



⑧

多様性を認める仏教

・仏性「仏になる種子」といったもので、あらゆる存在にこれを認めるところに仏教の特徴がある。また「仏心」といってもよいが、すべての存在に、差別しないでこの仏性を認めたところに仏教の平等の立場が見られる。

・中道偏見を離れた中正の道をいう。中間の道という意味ではなく、とらわれを離れ、公平に現実を徹見する立場を形容している。

・無明正しい智慧のない状態をいう。煩悩を煩悩たらしめる原動力のようなもの。

具体的なアクションプラン

- ・区別ではなく役割分担という意識
- ・寛容さ
- ・正しい知識・理解のためのコミュニケーション



★ 協議会①班のアクションプラン 《8/21 全体発表》

- ・日常的に多様な意識・考え方をもち続け、表層的な問題・課題の解決（改善）に留まらず、生徒会・全校生徒・教職員とともに根本的な問題について学び考え、みんなの思いをつなぎあわせる。そのために、意見交換や話し合いの場を設ける。

私たちの提案

ジェンダーや多様性について、私たちは協議会を通して、日常的に、多様な意識や考え方をバリエーションを持っていくことが大切だと考えました。制服も含めた校則がもっている問題、トイレの問題などを見直していくアクションを起こしませんか。ただし、そういう事象だけを改善、改訂するだけではなく、根本的な問題、それは人々が多様性を理解していくこと、それを考えたり学んだり伝えたりする機会も大切ではないかと考えます。

またこうした話し合いの場をもつことで、意見交換しながら、誰一人取り残すことなく、みんなの思いをバリエーションのようにつなぎあわせていければと思っています。みなさんの学校でも、こうした話題について話し合ったり学んだりする機会を持ってみませんか。取り組み方は生徒会や全校生徒、さらには先生たちを巻き込んで、考えていくことです。みなさんで一歩を進めていきましょう。

・アクションプラン1 『 私服登校日の導入 』(発表：相愛高校)

「自分を自由に表現する機会の創出」のための提案。

相愛高等学校

自分を自由に表現することを考えて、具体的に各学校で私服で登校する日を設けたり、LGBTについて学び話し合う機会を作ることからアクションを起こしてみませんか？

例えば

月に一度など行事の時に自分を表現することのできる服装で登校する。

各学年総会の時間などに実際にジェンダーの方へのインタビューをして問題を見つけ出し、改善策を見つけ出す。それを踏まえて理解を深める。

生徒会と先生方と協力してLGBTに触れる企画を作成する。

女子の制服として、新たにスラックスを導入するより即効性が高く実現も容易ではないかとの提案。

・アクションプラン2 『 多角的な意見・視点・理解の受容 』(発表：崇徳高校)

トイレのピクトグラムの色は、日本では[男性：青/女性：赤]を用いられることが多く、それが差別であるとする考え方が一方、無色のピクトグラムでは、色を判断材料として行動する者にとっては間違いを誘発する原因にもなるという意見もある。

1つの物事に対しても様々な意見・視点があり、理解していくことが重要であるという提案。

・アクションプラン3 『 根本的に偏見を取り除く 』(発表：神戸龍谷高校)

様々な立場や思いを持った人がいることを知ることが重要であるという提案。

◆ 協議会テーマ②「食えること」「エシカル消費」

☆ 各校考案のアクションプラン

⑨小樽双葉高校『「おタテ」をPR!』

⑩武蔵野大学附属千代田高等学院『 飢餓、貧困の連鎖を断つために 』

⑪金沢龍谷高校『「加賀野菜」で地産地消 』

⑫岐阜聖徳学園高校『 SDGsの問題に対して、私たち高校生には何ができるか。』

⑬進徳女子高校『 足りていることを知ることから始める 』

⑭東九州龍谷高校『 Escape from hunger 』

⑮敬徳高校『 フードロスをなくす「食べ物譲渡 in お寺」』

⑨ 「おタテ」をPR! はじまり

- ・「おタテ」・・・小樽市祝津産のホタテ
- ・小樽のホタテ → 稚貝を生産・出荷(食用の生産×)
- ・ニシンの収穫 → 枯渇 → 養殖(ホタテの稚貝)

- ・「おタテ」を食べてもらう
- 貝殻(ゴミ)が増える
- 貝殻を使って小樽・「おタテ」をPR

「おタテ」をPR! 告知方法(案)

- ・その1 → 粉にする(洗浄・乾燥・加熱・粉碎)
- ・町内会の花壇(土壌改良)
- ・水族館の水槽、小樽運河(水の浄化)
- ・高齢者施設・病院・学校のトイレ・靴箱(消臭)
- ・その2 → そのまま(洗浄・乾燥)
- ・観光名所作り(外にまいて、写真映える道)

⑩

WHAT IS THE ENVIRONMENTAL PROBLEMS?

日本では7人に1人の子どもが相対的貧困状態

相対的貧困とは
その国や地域の水準の中で比較して、所得でみると、一定の所得が中央値の半分に満たない状態のこと



子どもの飢食、偏った食事 → 将来にマイナスな影響 → 飢餓、貧困の連鎖

WHAT WE CAN DO FOR THE EARTH?

To Do.. 知る、発信、リサイクル、物々交換、コンポスト、寄付、物を大切に

To Buy.. フェアトレード製品、リサイクル製品、古着

※フェアトレードとは、発展途上国の生産者や子孫、女性の経済的自立を目指す貿易のこと



⑪

協議テーマ②「食べること」「エシカル消費」

「加賀野菜」で地産地消



加賀野菜ブランド認定品目
「加賀れんこん」「加賀太きゅうり」「源助だいこん」「金沢せり」などの15品目



石川県金沢市
金沢龍谷高等学校
1年 古野 快凌
1年 吉井 一基

「加賀野菜クッキー」を文化祭で販売




金沢せり、加賀れんこん、源助だいこん、加賀太きゅうり

⑫

SDGsの問題に対して、
私たち高校生には何ができるか。

一人一人が
SDGsを意識して生活する学校

レインフォレスト・アライアンス認証マーク

人と自然のための活動。
農園の環境、土壌・水を含めた天然資源、生態系や生物多様性を守ることが出来る。



エシカル消費をしよう！

⑬

●アクションプラン

精進料理とは、私たちが普段捨てている野菜の皮や種なども使用する料理。

「食品ロス」を減らすことにも繋がります。



食品ロスを無くすために 私たちにできること

- ・精進料理の知恵からもわかるように「皮や種を有効活用する」ことではないかと考えます。
- ・現代風にアレンジしたレシピをSNSで発信する。

- ・「精進料理」の精神のもと、
限りある食材を無駄なく使用する。
- ・クックパッドやInstagramなどのSNSで発信。
- ・今の状態で「足りていることを知る」ことが大切。

⑭

Escape from hunger

ハンガーマップにデータがない国
→ウガンダに注目

《気候》
赤道直下に位置
一年中夏の気候のような気候
北部・乾季が多い
南部・一年を通して雨が多い

《農作物》
バナナ・メイズ・キャッサバ
トマト・タロイモ



～栄養不良の原因～

①水を得るのに手間と時間がかかる
→得られても汚れた水

②栄養に対する知識不足
→その結果に得られる食物ばかり食べる
→偏った食生活になる

③急激な人口増加（移民の流入）
→食糧の需要と供給が釣り合わない

④急激な気候変動（干ばつ）による農作物の不作
→気候変動への対応の仕方がわからない

【改善策】
①之先地産品がオンラインで農家の人たちに正しい知識を
伝えるための場をつくる
②地産品で得られた農作物を食料化
③天候に左右されない農業用設備の設置



農業面の改良策

YouTubeなどの動画投稿サイトを推進

・誰でも見ることができる
→生活や農業に関する知識・技術を
動画を投稿する

・広告料で支援できる
→農業の発展を促すための資金集め

YouTubeでは収益化すると
1再生＝0.1円の収益が入る

地産地消の有効化

自国のものを自国で加工し消費
するために
工場建設

現地で採れた農作物を使ってグラノーラなどの
栄養価の高い食品を作る
→完成した食品を農家や周辺の国の
子ども達に配布する



⑮

敬徳高校のアクションプラン

フードロスなくす 『食べ物譲渡 in お寺』

・ご門徒や近隣の方々から余っている農
産物などを譲ってもらう

・必要としているご家庭にお寺で渡す



- ・広報活動（ポスター、HP、SNS）
- ・場所...市内のお寺に協力をお願いする。
- ・実際の運営（会場設営、食べ物を渡す、衛生管理）





買いすぎ
期限切れ
食べ残し



★ 協議会②班のアクションプラン 《8/21 全体発表》

『 0 waste recipe (ゼロ ウェイストレシピ) 』（発表：岐阜聖徳学園高校）

- ・最終的なゴールとして「命に感謝できる社会の実現」を設定。
- ・普段は余りがち、捨ててしまいがちな食材（人参の皮、大根の葉など）をなくすために、それらを美味しく食べることができるレシピを開発する。
スーパーなどで購入可能な食材を活用したレシピの他、地域活性化や地産地消を意識した各地域ごとの名産品レシピも開発する。
- ・何気なく食べている食材の背景や、フードロスなどの社会問題、エシカル消費などの活動について知る契機にもなる。
- ・広報活動として、作成したレシピ特集・レシピカードを製本し、お寺・学校にて配布する。また、SNSやインターネット上のコミュニティで発信する。

例) SNS・・・Instagram、Facebook など。ハッシュタグも活用

Web コミュニティ・・・クックパッドなどのコミュニティサイト。

その他・・・YouTube の活用。

龍谷総合学園ホームページでレシピを紹介する。

- ・レシピ開発のために、運営委員会（2022年頃より活動開始）の設置を提案。

◆ 協議会テーマ③「SNS～対話・コミュニケーションの可能性～」

☆ 各校考案のアクションプラン

- ①⑥札幌龍谷学園高校『自分にとってのSNSとは?』
- ①⑦国府台女子学院高等部『フェイクニュースと社会の分断化』
- ①⑧龍谷富山高校『RYUTOMI ◆SDGs◆ ゴール∞(エイト)』
- ①⑨北陸高校『SNSと仏教の関わり～SNSとの向き合い方～』
- ②⑩兵庫大学附属須磨ノ浦高校『衣服の3Rを身近なものに』
- ②⑪岡山龍谷高校『各種SNSを正しく使おう!! プロジェクト』
- ②⑫敬愛高校『SNSのメリット・デメリット』
- ②⑬龍谷高校『クラスのグループライン』

①⑥



①⑦

課題①フェイクニュース

- ・「こまめに水を飲むと新型コロナウイルス予防に効果がある」
- ・「新型コロナウイルスについて、中国が「日本肺炎」という呼称を広めようとしている」
- ・「ワクチン接種で不妊になる」
- ・「ローマ法王がトランプ支持を表明した」「ヒラリーが過激派組織ISに武器を供与した」(2016年アメリカ大統領選挙)
- ・「イギリスのEUへの負担額は週約3億5千万ポンドである」(ブレグジット)

課題②社会の分断化

- ・SNSや検索サイトには、その人物の過去の履歴や傾向から、その人が好む情報を選別するしくみがある。
- 似たような情報ばかりに接し、多様な意見に触れる機会が失われる。(フィルターバブル)
- 同じような考えの持ち主が集まって共感し合うことにより、その考えが極端化して影響力を持つ。(エコーチェンバー現象)
- 自分と相容れない意見をもつ相手に対して、過激な言葉で批判する



アクションプラン

●情報のソース(情報源)を確認する

- ・ソースが明示されているか?
- ・特定のソースに偏っていないか?
- ・客観的なデータやエビデンス(根拠)は存在するか?

→ファクトチェックをしているメディアを活用(例) BuzzFeed Japan、毎日新聞

●多様な意見や情報に接する

- ・複数の報道機関による報道を比較・検討する

●情報を発信する際は、ソースを明示する

- ・SNSで流れてきた情報を鵜呑みにしない



②① 〈私達の考える課題〉

正しく使えば便利なのに上手に利用できていない

↓

**種類豊富なSNS、それぞれの特性
きちんと理解できている??**

しかし、一般的なものでは聞かない人も多い

SNSで情報発信をしよう!!

生徒会アカウントの設立

日常的に目にする場での発信

- ・ 目にする機会が多くなる
- ・ 生徒運営による実践の場

記憶定着

話題性

②② 「SNS～対話・コミュニケーションの可能性」

SNSのメリット

- ① 情報収集が簡単に出来る。
- ② 暇な時間をつぶせる。
- ③ 新しい人間関係ができる。
- ④ 多くの意見を知ることができる。

メリットも多い中...

・ 他人への「誹謗中傷」が目立つように...

理由

- ① 自分の弱さを隠すため
- ② 優越感の錯覚
- ③ 歪んだ正義感

「悪口」と「誹謗中傷」の違いは...?

もし自分・身近な人が傷つけられたら

- ① 自分が思っている以上に周りには味方がいる
- ② 自分のことを悪くいう人よりいい意見やアドバイスが優先

まとめ

- ・ 私達一人一人の心の持ち方によって誰かの助けになる
- ・ 自分・大切な人が傷つけられた時の対処法を知っておく

②③ 龍谷高等学校

噂もあるし、A先輩に...

自分の意思で決めたいな...

仏教 × SDGs 2021

仏教 × SDGs 的観点から見た時...

自省利他 自己中心的な考え方からの転換	如実知見 物事に対して、色々な視点からありの姿に近づく
--	--

SDGs

16. 平和と公正を全ての人に

さまざまな人の立場に自分を置いて、取り残される意見がないよう問題解決に努める

- ・ 自省利他・如実知見
- ・ 公正な判断
- ・ 直接会うコミュニケーション

➡

デフォルト化

★ 協議会③班のアクションプラン 《8/21 全体発表》

『Instagramによる生徒会アカウントの設立』（発表：岡山龍谷高校）

・ 気軽に様々な情報を発信可能。

発信内容① SDGs活動の発信

例）校内フリーマーケットでの活用、オンラインボランティア活動

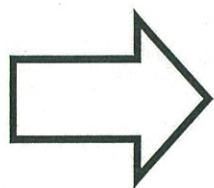
発信内容② 行事等についての発信

例) 仏教行事の活動報告を通して、仏教の理念や「心の持ち方」などを発信。

発信内容③ SNS についての発信

例) 使い方の見つめ直し、フィルターバブルについて発信、ゲームの発信

- ・各校での実現に際しての課題として「許可の取得方法」「運営方法」が想定される。明確な使用理由を提示しても設立許可が得られない場合は、「龍谷総合学園アカウント」の設立を提案。
- ・SNS を見ない（見れない）人に対しては、ポスターや生徒会新聞で情報発信。
- ・最終的なゴールは「龍谷総合学園からそれぞれが“つながる”社会に！！」
具体的には、①仏教の理念を協力して伝える
②SNS を最大限に有効活用する
③他校とつながり活動を全国各地へ広げる
④無理なく楽しく、代替わりしても持続可能な活動を行う



提案された3つのアクションプランを受け、RSG「仏教×SDGs 2021」宣言が亀井 柚花 さん（岡山龍谷高校）より読みあげられ、参加者全員の賛同により採択された。[※RSG 宣言文 次頁掲載]

「仏教×SDGs 2021」テーマ別オンライン延長協議（1回目）

協議会 ①班：10月21日（木） ②班：10月19日（火） ③班：10月22日（金）

「仏教×SDGs 2021」テーマ別オンライン延長協議（2回目）

協議会 ①班：11月5日（金） ②班：11月11日（木） ③班：11月19日（金）

◇ 延長協議を協議会別に2回ずつ実施

- ・8月21日の1日のみのオンライン研修ではアクションプランについて協議する時間が不足していたのではないかという運営側（事務局・作業部会）の反省から、より具体的なアクションプランの策定とその実行に向けた他校生徒との協議の場として、テーマ別のオンライン延長協議の実施を提案したところ、授業や学校行事の合間を縫って、多くの高校生・サポート教員の参加があった。
- ・各協議会にて2回にわたり、8月21日策定のアクションプランのブラッシュアップと、そのプランがSDGsの17の目標とどのように関連するか等について協議を深めた。

龍谷総合学園 「仏教×SDGs 2021」宣言文

私たち^{りゅうこくそうごうがくえん}龍谷総合学園に加盟する高校生は、本日「^{かける}仏教 × SDGs 2021」において、「ジェンダー／多様性」「食ること／エシカル消費」「SNS ～対話・コミュニケーションの可能性～」という3つのテーマが抱える課題の克服に向けたアクションプランを持ち寄り、考え方や地域性の違う龍谷総合学園の仲間たちと互いに刺激を受けながら、より具体的で持続可能なアクションプランをめざして協議を重ねました。

仏教、特に^{だいじょう}大乘^{しんらんしょうにん}仏教の精神、^{じょうとしんしゅう}親鸞聖人の^{けんがく}浄土真宗の教えを「^{けんがく}建学の精神」とする龍谷総合学園では、『自分ひとりで独立して存在しているものではなく、他者との関係性の中に存在する』という『^{えんぎ}縁起』の教えを大切にしています。すべては関係性を持っていて、この世界には私に関わり^{ものごと}のない物事はないことを、仏教は教えてくれています。

SDGs についても同じで、世界のどこかで見知らぬ誰かが取り組んでいるものではなく、私たち一人ひとりの生活に密接に関わっているはずです。だからこそ、私たちがすべての課題を「自分ごと」として受け止め、その解決のため積極的に行動することは、SDGs の基本理念である「^{だれひとり}誰一人取り残さない」社会の実現につながるものと信じています。

私たちは、本日協議した3つのアクションプランをもとに、仏教的視点を大切にしながら、一人でも多くの人と連携協力し、活動を実践していくことを、ここに宣言いたします。

2021(令和3)年8月21日

龍谷総合学園「仏教×SDGs 2021」

参加生徒一同

龍谷総合学園

仏教×SDGs

高校生が仏教的視点で社会実践考える

浄土真宗の仏教を基盤とする龍谷総合学園の生徒が、国際社会の課題とつながる活動として、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けて、仏教×SDGsをテーマに、各高校の代表生徒が、オンラインで集まり、SDGs達成に向けた活動を発表し、対話・コミュニケーションの場を設けた。



龍谷総合学園の高校生たちはオンライン会議アプリを使用し、画面越しに仏教的視点で社会実践について語り合った

龍谷総合学園の高校生たちは、オンライン会議アプリを使用し、画面越しに仏教的視点で社会実践について語り合った。各高校の代表生徒が、SDGs達成に向けた活動を発表し、対話・コミュニケーションの場を設けた。

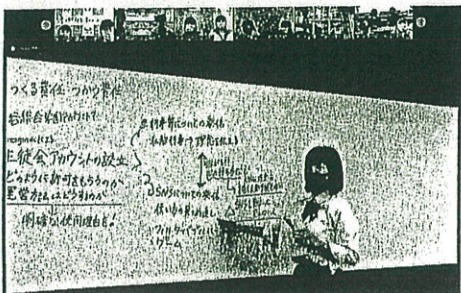
「SDGs達成に向けた活動を発表し、対話・コミュニケーションの場を設けた。各高校の代表生徒が、SDGs達成に向けた活動を発表し、対話・コミュニケーションの場を設けた。」

「SDGs達成に向けた活動を発表し、対話・コミュニケーションの場を設けた。各高校の代表生徒が、SDGs達成に向けた活動を発表し、対話・コミュニケーションの場を設けた。」

全体会では、各高校の代表生徒が、SDGs達成に向けた活動を発表し、対話・コミュニケーションの場を設けた。各高校の代表生徒が、SDGs達成に向けた活動を発表し、対話・コミュニケーションの場を設けた。

「SDGs達成に向けた活動を発表し、対話・コミュニケーションの場を設けた。各高校の代表生徒が、SDGs達成に向けた活動を発表し、対話・コミュニケーションの場を設けた。」

SDGs達成へ高校生が発表



ジェンダーや食品ロス対策など

龍谷総合学園

龍谷総合学園の高校生たちは、オンライン会議アプリを使用し、画面越しに仏教的視点で社会実践について語り合った。各高校の代表生徒が、SDGs達成に向けた活動を発表し、対話・コミュニケーションの場を設けた。

『週刊仏教タイムス』 第2911号 (2021年9月2日)

『本願寺新報』 第3422号 (2021年9月10日)

◇「仏教×SDGs 2021」最終アクションプラン

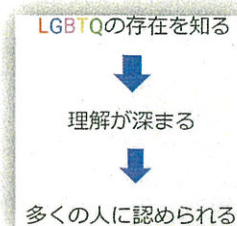
◆ 協議会テーマ①「ジェンダー」「多様性」

★ 協議会①班の最終アクションプラン 《12/9 最終全体会》

『LGBTQについて本質的に知ってもらう』（発表：龍谷大学附属平安高校・相愛高校）

- ・LGBTQは知っていても、本質的に深く理解している人は少ない。

ジェンダーについて授業等で学んだ高校生でさえ完全に理解できていない人が多いため、まずは「本当の意味で理解する」ことから始める必要がある。



- ・社会全体が性的マイノリティについて理解を深めることで、多くの人に認められ、誰もが暮らしやすい社会になると考える。
- ・他人事ではなく、自分事として捉える。

問題意識の持ち方

✖ 当事者だけに利益が出る問題解決策

○ 社会全体に利益が出る問題解決策



自分事として考えられる

今後の理想的な社会の形

LGBTQという概念の消失

ロングヘアーが好き、ショートヘアーが好きなように
男が好き、女が好きのように個人の好み
の一つになれば良い

究極的な「枠に捉われない社会」とは、LGBTQというカテゴライズが必要なくなるくらい、多様性が容認された社会ではないか。

【具体的なアクションプランの提案】

『ポスター・リーフレット・動画を作成し、
LGBTQについて知る機会を提供する』

- ・ポスターやリーフレットは、イラスト等を用いてわかりやすく説明。また、世界各地で実際に行われているジェンダー平等に向けた取り組みを紹介する。
- ・動画は、小中学生にもわかりやすい学習用コンテンツや、LGBTQ当事者や有識者による講演動画を作成。各校のホームページ上に掲載するなど、龍谷総合学園全体で共有・活用されることが望ましい。
- ・ジェンダーやLGBTQについて、他人事と考えている人に対して意識改革を促すことを目的としたアクションプラン。
各校で実行可能な範囲は異なることが予想されるため、ポスター・リーフレット・動画という複数の手段（アクションプラン）を提案。
各校で実行可能なプランを選択し、より多くの人にジェンダーについて知る機会を増やすことができるよう、小さなことから一緒に取り組みたい。



【 仏教×SDGs との関連性 】

- ・ 摂取不捨（生きているものすべてを見捨てないという仏教の教え）と、SDGs の理念（誰一人取り残さない）の親和性。
- ・ 自分がやりたいことを、「性別」という枠で制限されないためにも、ジェンダーやLGBTQ について知る機会を増やし、人々が多様性を認め合える世界をつくることが重要。
- ・ SDGs 目標 5「ジェンダー平等を実現しよう」では、女性関連のワードが多く、女性差別撤廃が掲げられている。
- ・ ジェンダーとは、社会的・文化的な役割として作られた男女性差を意味する。その差別撲滅にとどまらず、LGBTQ をはじめ、どんな性の在り方でも互いを思いやり尊重することが大切。



・ 長野美術専門学校との連携によるポスターデザインプロジェクト
<https://www.pref.nagano.lg.jp/jinken-danjo/30bisen.html>

・ SDGS（持続可能な開発目標）17の目標&169ターゲット個別解説
<https://imacocollabo.or.jp/about-sdgs/17goals/>

5. ジェンダー平等を実現しよう ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る	
ターゲット	
5-1	あらゆる場面に於けるあらゆる性別及び性に対するあらゆる形態の差別を撤廃する。
5-2	人権侵害や性的、身体的虐待、性暴力及び性被害に対する、公的・私的レベルにおけるあらゆる形態の暴力を撤廃する。
5-3	未成年者の結婚、早婚、強姦、強制結婚及び女性嫁取など、あらゆる有害な慣行を撤廃する。
5-4	公共サービス、インフラ及び社会福祉政策の提供、並びに各団体の状況に応じた労働・就業内における賃金差別を撤廃し、報酬の男女均等、労働時間、労働条件の均等を確保する。
5-5	政治、経済、金融分野におけるあらゆるレベルの意思決定において、男女が均等に参加及び平等なリーダーシップの機会を確保する。
5-6	出生率、死亡率、出生前診断（PGD）の普及率及び妊産婦の健康、並びにこれらに関連する政策立案に、性と生殖に関する健康及び権利への普遍的アクセスを確保する。
5-a	自治体に対し、経済的資源に対する同等的権利、並びに金融に、オーナーシップ及び土地その他の財産、金融サービス、情報技術、天然資源に対するアクセスを確保するための政策を実施する。
5-b	女性の能力強化促進のため、ICTをはじめとするデジタル技術の活用を推進する。
5-c	ジェンダー平等の促進、並びに全ての性別及び性へのあらゆるレベルでの能力強化のための適正な政策及び政策的な資源の確保、強化する。

（ 作業部会員 所感・アドバイス ）

- ・ 宮村 英寿 先生（岐阜聖徳学園高校）
 多くの人が、様々な考え方を持っている。このプロジェクトを通して、参加した一人ひとりが、それぞれの多様性を認め合うことについて考えるきっかけとし、今後は、たとえ小さな取り組みであったとしても、各校で第一歩が踏み出されることを期待している。
- ・ 花野木 政信 先生（崇徳高校）
 複数のプランを準備することで、各校が取り組める内容に自由度があるため、できることから取り組んでもらいたい。

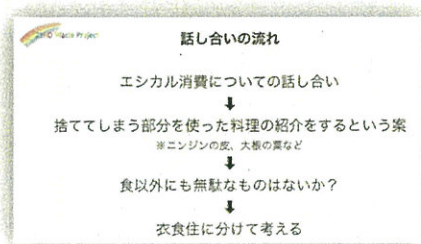
◆ 協議会テーマ②「食べること」「エシカル消費」

★ 協議会②班の最終アクションプラン 《12/9 最終全体会》

『 ZERO Waste Project (ゼロ ウェイスト プロジェクト) 』

(発表：岐阜聖徳学園高校・小樽双葉高校・東九州龍谷高校)

- ・当初は「食べること」「エシカル消費」といった“食”をテーマとして、捨ててしまう食材を用いた『 0 waste recipe 』について協議を進めていたが・・・



“食”以外にも無駄にしているものはないか着目し、“衣食住”に視野を広げて協議を展開した。



- ・『 ZERO Waste Project 』とは、ゴミをゼロにすることを目標に、廃棄物を減らす環境社会を高校生が中心となって呼びかけようというプロジェクト。

【 具体的なアクションプランの提案 】

① 私たち高校生にできること (※学校や地域でできること)

※各校が実際に取り組んでいる活動事例を、『 ZERO Waste Project 』と関連付けて紹介。

・ “衣” 小樽双葉高校

フィリピン ミンダナオ子ども図書館への物資支援 (卒業後に不要となる上靴・古着や、クリアファイル等) の活動。

・ “食” 東九州龍谷高校

食品ロス削減に向けた活動

短期的活動：①昼休みの「食品ロス放送」で情報発信。

- ②家庭にある余剰食品の寄付を受け付け、食べ物に困っている方々に配布する「フードバンク」の活動を全校展開。



集まった寄付は100品以上。
中津市社会福祉協議会へ寄付。

長期的活動：東九州龍谷高校 食物科の協力のもと、なるべく食品ロスを出さないレシピを集めた「エコレシピ」を発行。



東九州龍谷高校 SDGs 実行委員会発行の「エコレシピ」。「骨まで食べる！いわし使い切りレシピ」や「茎も美味しい！ブロッコリー使い切りレシピ」等を掲載。東九州龍谷高校の体験入学や外部イベントへ参加の際に置いたところ、多くの人に手に取ってもらえた。

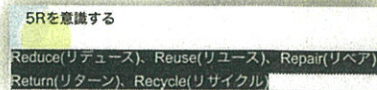
・ “住” 岐阜聖徳学園高校の活動紹介

①環境ラベルがついた商品を選択する。

「総合」の時間では、フェアトレードマーク周知のためのプレゼン動画を作成。

②5Rを意識する。

③プラスチックフリー（ペットボトル使用量削減のためマイボトルを使用したり、マイバッグを使用、包装が少ない製品を選ぶといった行動）



2 プロジェクトとしてできること（※龍谷総合学園や全体の協力を得ることのできること）

・『ZERO Waste Project』を通して、高校生が社会発信するための方法として、「継続的に見続けて、ゲーム感覚を取り入れたホームページ※の作成」を提案。

※「エコバッグを持ち歩く」等のデイリーミッションをクリアしてポイントをため、企業とコラボして、何らかの形で社会へ還元する。また、ホームページ上の日本地図からその土地の伝統料理やエコレシピが見れたり、地域掲示板を設置して情報交換ができるなど、ゲーム性に富んだコミュニティサイト。

広い世代にプロジェクトを周知し、日常生活を見直すきっかけとしてほしい。

【 仏教×SDGs との関連性 】

- ・SDGs 目標1 「貧困をなくそう」・・・ “衣”（小樽）
- ・SDGs 目標2 「飢餓をゼロに」・・・ “食”（東九州）
- ・SDGs 目標12 「つくる責任 つかう責任」・・・ “衣”（小樽）／ “食”（東九州）
- ・その他、すべての目標に関連する。

（ 作業部会員 所感・アドバイス ）

・花野木 政信 先生（崇徳高校）

“食” から“衣食住” へのテーマ展開は、高校生独自で考えたもの。これからの活動に期待が持てる協議とプランである。

◆ 協議会テーマ③「SNS～対話・コミュニケーションの可能性～」

★ 協議会③班の最終アクションプラン 《12/9 最終全体会》

『 SNS アカウントの設立等により対話・コミュニケーションの可能性を探る 』

(発表：岡山龍谷高校)

- ・当初は「SNS アカウントを取得しての情報発信」を想定していたが・・・



各校の状況も異なり、その他にも問題点が散見。

- ・「発信する内容」を SDGs と仏教の観点から再確認。



【 仏教×SDGs との関連性 】

- ・仏教的な視点「自省利他」「如実知見」「摂取不捨」
- ・SDGs 目標 12「つくる責任 つかう責任」
- ・SDGs 目標 16「平和と公正をすべての人に」・・・SNS を正しく使い誹謗中傷をなくす
- ・SDGs 目標 17「パートナーシップで目標を達成しよう」・・・SNS は人と人をつなげるツール

出てきた問題点

- ・SNSアカウント設立が難しい学校がある
- ・仏教やSDGsへの関連が薄い
- ・誰一人取り残さないためには
- ・活動内容が定まっていない

発信していく上で大事にしておくこと(仏教)

- ・自省利他
他人に思いやりを持ち自己中心的でなく周りを尊重していくこと
- ・如実知見
現状をきちんと把握すること＝解決に向け行動する
- ・摂取不捨
生き物全てを見捨てず、救いあげる＝誰一人取り残さない

【 具体的なアクションプランの提案 】

- ・発信内容① SNS について・・・SNS の正しい使い方
- ・発信内容② SDGs 活動の発信・・・各校の取り組み
- ・発信内容③ 仏教についての発信・・・各校の仏教行事
- ・各校が実情に合わせ、発信内容や手段を選択して龍谷総合学園全体としてできることから取り組む。

活動について

★方法★

- ・SNSアカウント
- ・各校HPやブログ
- ・校内掲示板 など
- ・誰一人取り残さない
・SNSの可能性を広げる

★内容★

- ①SNSについて
正しい使い方や付き合い方
- ②SDGs活動の発信
各校での取り組み
- ③仏教についての発信
仏教行事について

まとめ

協議テーマ SNS～対話・コミュニケーションの可能性～

SNSアカウントを起点に様々な活動を行い
SNSの可能性を広げていく。



多様性溢れる、より良い社会の実現を！



※岡山龍谷高校は、本プロジェクトを機に学校に相談し、生徒会アカウントを設立した。

岡山龍谷高校 生徒会 で検索 または QR コード読み込みでフォローしよう！

また、龍谷総合学園のホームページ (<https://www.rsg1995.jp/>) から、他の学校の公式ホームページも見てみよう!!

(作業部会員 所感・アドバイス)

・紅 檼 聖 先生 (東九州龍谷高校)

SNS の使い方を見直すため、一度立ち止まって考えることで、さらに可能性が広がる。龍谷総合学園全体として、正しく SNS を活用したい。

・安藤 伶 先生 (相愛高校)

SNS を通したコミュニケーションの本質を仏教と SDGs の観点から探る。今後も SNS に支配されず、上手く活用する方法を考え続けてほしい。

◇「仏教×SDGs 2021」の総括（作業部会員より）

◆ 井上 陽 先生（相愛大学）

- ・自分たちの周りの社会や環境を見つめ直すことで、問題が山積していることに気づく。自身がその問題に対してどのように関わっていくのかを考え、その考えを実行に移し、社会に発信することで、同異多用な考えを持つ多くの人と繋がる。そして、その繋がりが「誰一人取り残さない」社会を構成する要素をより充足させると考える。
- ・プロジェクトへの参画を通し、孤独な活動ではないと気づいた時、自己の世界が一段階広がりをみせる。各テーマそれぞれが今後の未来を期待させてくれる内容であり、この活動やアクションが、次代に継承されていくことを切に念願する。

◆ 野呂 靖 先生（龍谷大学）

- ・各テーマとも一見するとバラバラのように見えるが、その実、「他者を尊重する」という点において共通しているように思える。個々の違いを認め合い、一人ひとりを尊重する社会の延長線上に「SNS」や「多様性」等の問題が関係してくる。
- ・どんな些細なことでも、身近な問題に対し可能な範囲内で着手することが重要である。今回のプロジェクトの各アクションプランをヒントにして、できることから積極的にチャレンジしてほしい。

以 上

「仏教×SDGs 2021」 全参加者名簿

No.	学 校 名	名 前	学年	所属クラブ・委員	協議会	サポート教員 名前	校務分掌 ／担当教科
1	旭川龍谷高等学校	1 おがわ あん 小川 安	2年	吹奏楽部 生徒会書記長	1	1 ふじしま ひろあき 藤島 裕明	宗育部・生徒指導 ／宗教・社会
		2 むろい ゆい 室井 結衣	2年	仏研部 生徒会会計			
2	札幌龍谷学園高等学校	3 やまいち まお 山市 麻央	1年	若葉会インターアクト部	3	2 みさわ やすひで 三澤 康英	探究部 ／英語
		4 やまもと りん 山本 凛	1年	若葉会インターアクト部		3 たなか あやか 田中 文佳	探究部部長 ／地歴公民
		5 とくまる りあん 徳丸 莉安	1年	若葉会インターアクト部			
3	小樽双葉高等学校	6 せと さなえ 世戸 沙苗	2年	奉仕活動部 生徒会執行部	2	4 ふるた かずゆき 古田 和幸	奉仕活動部・生徒会顧問 ／数学
		7 たかはし みほ 高橋 未歩	2年	奉仕活動部			
4	武蔵野大学高等学校	8 いちかわ さき 市川 紗生	2年	生徒会	1	5 なかむら しゅんや 中村 駿也	生徒指導部 ／保健体育
		9 よこやま しんのすけ 横山慎之助	2年	生徒会			
5	武蔵野大学附属千代田高等学院	10 しばやま りりか 柴山 鈴花	2年	写真部 中央委員	2	6 ながおか じゅん 永岡 遵	教務 ／数学
		11 ひらの ももは 平野百々葉	2年	バドミントン部		7 しみず たつき 清水 達基	総務部 ／体育
6	国府台女子学院高等部	12 こばやし まお 小林 真緒	2年	茶道部 礼拝委員	3	8 ふじさわ しょう 藤澤 翔	第2学年副担任 探究型学習委員会 ／地歴公民
		13 たかしま ほのか 高島帆乃花	2年	マンドリン部・ボランティア部 礼拝委員			
7	龍谷富山高等学校	14 はやし ほのか 林 鳳香	3年	生徒会会長	3	9 よこやま ゆかこ 横山裕香子	特活部 ／国語
		15 ゆのき たくみ 柚木 拓望	3年	写真部部長 生徒会副会長			
		16 まつばら こうすけ 松原 光翼	2年	生徒会庶務			
		17 みやた しょうき 宮田 涉希	1年	生徒会庶務			
8	高岡龍谷高等学校	18 いせ なごみ 伊勢 和	2年	放送部 生徒会執行部総務	1	10 ひらかわ かよこ 平川佳誉子	進学係・図書係 ／国語
		19 みやた ゆきや 宮田 幸弥	2年	パソコン部 クラス副委員長		11 かわい かずなり 河合 一成	進学指導部長
		20 たかはし はるな 高橋 陽菜	2年	—			
		21 ほそじま けいご 藤島 圭吾	2年	—			
9	金沢龍谷高等学校	22 ふるの かいり 古野 快凌	1年	数学探究同好会	2	12 よしかわ けんと 吉川 健人	進路指導課 ／数学
		23 よしい かずき 吉井 一基	1年	図書委員			
10	北陸高等学校	24 あおき ひろのぶ 青木 宏允	3年	写真部 宗教部	3	13 はしば かずたか 葉柴 和貴	学年主任・宗教科主任 ／宗教・地歴公民
		25 おおはら れんや 大原 蓮也	3年	アウトドア部 宗教部		14 きりやま けんしょう 桐山 顕証	進路指導部長 ／地歴公民
11	岐阜聖徳学園高等学校	26 さとう あみ 佐藤 雅巳	2年	クラス会長（代議員会）	2	15 おおはし よしみ 大橋 義耳	渉外部 ／宗教教育・英語・宗教
		27 おおつか まち 大塚 万智	2年	クラス副会長（代議員会）		16 みやむら ひでとし 宮村 英寿	宗教教育、渉外 ／宗教
12	龍谷大学付属平安高等学校	28 みつい こうき 三井 昂輝	3年	—	1	17 いしかわ しんや 石川 真也	宗教教育係 ／宗教
		29 やすはら きょうたろう 安原恭太郎	3年	—		18 こみね もえみ 小嶺 萌実	高大連携係 ／社会
13	相愛高等学校	30 こなか りん 小中 凛	3年	生徒会執行部会長	1	19 いしだ こうへい 石田 浩平	キャリア教育係・探究学習 ／英語
		31 たざき みゆう 田崎 心優	3年	—		20 あんどう れい 安藤 伶	広報部、教務部 ／国語
14	神戸龍谷高等学校	32 おかだ ほのか 岡田 帆夏	1年	JVC・ESS 生徒会	1	21 ふじもと ちしょう 藤本 智彰	宗教教育部 ／宗教
		33 ほそおか なずな 細岡 菜沙	1年	—			
15	兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校	34 くご みき 久留 美紀	2年	テニス部 生徒会役員	3	22 なかしま ひろみ 中島 広美	教諭 ／国語
		35 とみた まゆ 富田 茉優	2年	生徒会役員			
16	岡山龍谷高等学校	36 かめい ゆずか 亀井 柚花	2年	チアリーディング部部長 生徒会副会長	3	23 きじ ひろき 木地 広樹	生徒課 ／宗教・保健体育
		37 にしえ まなか 西江 愛華	2年	交通安全委員			
17	崇徳高等学校	38 こじま まさと 小島 政俊	2年	生徒会	1	24 はしづめ さとし 橋詰 智	探究係 ／探究・社会
		39 よしざき りん 吉崎 凛	2年	生徒会		25 はなのき まさのぶ 花野木政信	探究 ／理科・地学
18	進徳女子高等学校	40 おおなり さくら 大成 咲花	2年	—	2	26 つじもと たつや 辻本 達也	広報 ／数学
		41 ばば みさき 馬場 美咲	1年	—		27 ふくやま ひろみ 福山 浩実	ICT教育推進部、生徒指導部、 入試部／理科
		42 おおた あき 大田 諒	2年	—			

No.	学 校 名	名 前	学年	所属クラブ・委員	協議会	サポート教員 名前	校務分掌 担当教科
19	敬愛高等学校	43 こうりき ゆいか 神力 唯華	2年	ESS	3	28 しもせ かずき 下瀬 一樹	第2学年主任 ／英語
		44 みお ともみ 三尾 朋美	2年	—			
20	筑紫女学園高等学校	45 もとむら みゆう 元村 海悠	2年	宗教部	1	29 おやま のりとも 小山 了智	宗教教育・企画調整部 ／宗教
		46 メザベル カイナ	2年	宗教部		30 たいら こうりゅう 平 孔龍	宗教教育・企画調整部 部長 ／宗教
21	東九州龍谷高等学校	47 おぐら ひな 小倉 光夏	2年	地域科学部	2	31 ほんだ さとい 本田 慧	人権教育 ／理科
		48 こやの ここな 小屋野 心菜	2年	地域科学部			
		49 もうり あやの 毛利 彩乃	2年	宗教部 SDGs実行委員		32 くらだ よしきよ 黒田 義浄	宗教教育副主任
		50 なかの くり 中野 久梨	2年	聖歌隊、生徒会役員 SDGs実行委員			
22	龍谷高等学校	51 ふじみ まさなり 藤海 真成	1年	学習委員	3	33 くすもと のぶひで 楠本 信秀	生徒会 ／数学
		52 よこすか あいり 横須賀愛理	1年	美術部 宗教委員			
23	敬徳高等学校	53 ふくだ まな 福田 真奈	1年	宗教教育(雅楽)同好会	2	34 にぶ よしのり 仁部 義徳	進学指導 ／国語
		54 ほった はるな 堀田 晴那	1年	宗教教育(雅楽)同好会		35 ほった こうすけ 堀田 宏介	1学年主任 ／地歴公民

「仏教×SDGs 2021」作業部会

部会長	1 こうばい しょう 紅煤 聖	東九州龍谷高等学校	3
部会員	2 たなか あやか 田中 文佳	札幌龍谷学園高等学校	2
	3 みやむら ひでとし 宮村 英寿	岐阜聖徳学園高等学校	1
	4 あんどう れい 安藤 伶	相愛高等学校	3
	5 はなのき まさのぶ 花野木政信	崇徳高等学校	1・2
	6 なかむら じゅんいち 中村 純一	龍谷中学校	1
	7 のろ せい 野呂 靖	龍谷大学	1・2・3
	8 いのうえ あきら 井上 陽	相愛大学	1・2・3

龍谷総合学園 事務局

理事長	いりさわ たかし 入澤 崇	龍谷大学	—
事務局長	まつした まさのり 松下 昌文	浄土真宗本願寺派	—
事務局	おかだ ゆうすけ 岡田 雄介	龍谷大学	—
	ひがしやま かなこ 東山加奈子		—
	はやし てんせ 林 天紗	龍谷大学 学生サポーター	2
	しまこし ゆい 島越 結衣		3
	やまぎし そうた 山岸 颯汰		1
	やました ひろき 山下 弘樹	浄土真宗本願寺派	—
	わかばやし かずとし 若林 和世		—

事前学習用教材DVD 講師

仏教×SDGsについて (企画の概要とコンセプト)	のろ せい 野呂 靖	龍谷大学
協議テーマ① 「ジェンダー」「多様性」	いわた まみ 岩田 真美	
協議テーマ② 「食べること」「エシカル消費」	おちあい ゆきの 落合 雪野	相愛大学
協議テーマ③ 「SNS ～対話・コミュニケーションの可能性～」	なこし やすふみ 名越 康文	

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

